

第8回幹事会での意見について

資料-2

No	意見提出課	意見・質疑	事務局回答	備考
1	静岡県 河川企画課	<p>工事完了目標を定めて進捗管理をしていた対策のうち、<u>継続実施とした対策については、計画的な事業進捗が図れるよう、引き継いだ協議会等で事業の進め方などを関係者間で共有しながら進めていただくようお願いいたします。</u></p> <p>近年、豪雨の頻発化・激甚化による浸水被害が発生しております。今後、対象の地区内で浸水被害が発生した場合は、「浜松市域流域治水対策推進協議会」で、<u>降雨や浸水被害の状況を共有し、必要に応じて「馬込川流域水災害対策プラン」を見直すなど、協議会で議論しながら進めていただくようお願いいたします。</u></p>	<p>継続実施していく対策については、浜松市域流域治水対策推進協議会にて引き続き進捗管理を行っていきます。</p> <p>今後、高塚川流域において、浸水被害が発生した際には、同協議会で確認したうえで、必要に応じて計画の見直しなどを実施します。</p>	
2	静岡県 河川海岸整備課	<p>・馬込川の河川改修については、早期の治水効果の発現に向け、白羽橋の架け替えや河道掘削を計画的に進めていく必要があります。つきましては、<u>水災害対策プランに引き継ぐにあたり、関係者間での情報共有を密にするとともに、浜松市域流域治水対策推進協議会において進捗管理を行い、必要に応じてフォローアップするようお願いいたします。</u></p>	<p>継続実施していく対策については、浜松市域流域治水対策推進協議会にて引き続き進捗管理を行い、必要に応じてフォローアップを行っていきます。</p>	
3	浜松市 道路保全課	<p>07_【参考資料1】R7進捗公表用資料の1ページ目左下の「ソフト対策実施」に道路側溝の清掃が記載されております。一方、2ページ目のアクションプランの対策メニューを見ると、道路側溝土砂の収集・処理はハード対策に見えます。</p> <p>表現を少し工夫する方が良いかと思えます。</p>	<p>道路側溝の清掃はハード対策の一つとして位置付けていますので、公表用資料の1ページ目左下の表現を修正しました。（文章内のソフト対策の記載をなくし、継続して実施する対策の内容へと変更）</p>	
4	浜松市 下水道工事課	<p>①資料2 a馬込川の改修・維持浚渫 R7年度の実績値が記入されていません。</p> <p>②資料4 浜松市南部（馬込川下流域）総合的治水対策推進協議会は存続するのか</p> <p>③参考資料1 裏面 ・「対策効果について」 対策後の図において、「矢印のみ」となっている。 「馬込川下流水災害対策プラン」と記載されている箇所がある 正式名称「馬込川流域水災害対策プラン」である</p>	<p>①河道掘削を実施するにあたり、白羽橋の架け替えが必要となるため、令和7年度は橋梁架け替えに向けた既設橋梁の撤去設計及び地質調査業務を実施しております。</p> <p>②浜松市南部（馬込川下流域）総合的治水対策推進協議会は高塚川排水機場の整備をもって完了とし、浜松市域流域治水対策推進協議会にて引き続き進捗管理を実施していきます。</p> <p>③資料を修正しました。</p>	

第8回幹事会での意見について

資料-2

No	意見提出課	意見・質疑	事務局回答	備考
5	浜松市西南部土地改良区	<p>高塚川流域の耕作者の代弁者として、西南部土地改良区から以下の意見を回答します。</p> <p>まず始めに、近年の浜松南部の市街化へ向けての対応について、高塚川を利水から治水へ注力することについて異議を唱えるものではありません。現に当土地改良区は国、県、市等から、土地改良整備に当り多大なる支援を頂いており、高塚川周辺に至りましてもおかげをもちまして整備が進み、現状において高塚川から直接農業用水を取得する状況も減っています。</p> <p>しかし、高塚川の河床並びに護岸の水密性は信頼を置けるレベルに無く、水田の水深が高塚川の水面高さに影響を受ける状況が見受けられます。このため、治水対策側として高塚川の水位設定を低めに設定し出水時における高塚川の貯水量に余裕を持たせたいことは理解できる運用だとは思いますが、<u>高塚川の水位を常時低めに設定した場合、高塚川周辺の水田への影響が強くなることを念頭に適正水位の決定が最重要課題だと認識しています。</u></p> <p>したがいまして、市街地への雨水災害対応へ主眼を置きつつも、<u>隣接する耕作地への影響を最小限に抑えるべく、高塚川における通常時の維持水位、非常における段階的な維持水位並びに、現田尻排水機場と新田尻排水機場の優先運転等排水機場運転調整を現時点で具体的に設定する事を強く希望します。</u></p>	<p>水田への取水を高塚川から取水する方法から水路整備等により他の水源から取水する方法に切替えて高塚川の水位を下げるための取組である水源転換を実施済みです。</p> <p>高塚川の水位を下げた場合の水田への影響については、引き続き農地部局と連携を図りながら経過観察を行っていく必要があると考えています。</p> <p>高塚排水機場の操作規則についても、既存の田尻排水機場の状況を踏まえ、適切に設定いたします。</p>	